



7月号

令和3年6月30日
横浜市立東中田小学校
校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

校長の仕事

校長 天野 直美

まん延防止等重点措置の適用期間が7月11日まで延長され、4年生と5年生の「愛川体験学習」の宿泊体験は行わないことにしました。日帰りで4年生は7月13日、5年生は11月頃に行く予定です。このようになることをある程度想定して、事前に子どもたちや保護者の皆様に説明を行っておりましたので、予定変更がスムーズに行えました。子どもたちや保護者の皆様に理解していただいたことに、心より感謝いたします。日帰りとなりますと、活動内容や時間設定に工夫が必要になります。帰りの迎えなど保護者の皆様にご協力をお願いする事もでてまいります。その際にはどうぞご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止策の手立てとして、リモートによる会議や授業が有効活用されております。私自身もリモート会議に大分慣れてきました。毎週月曜日に行く朝会も、全てテレビ朝会です。朝会は唯一校長が子どもたちに直接語り掛けることができる貴重な場ですので、私は「自らがやく とともにかがやく」の学校教育目標を意識し、季節や話題などを織り込んで話すようにしています。校長として大事な仕事だと思ってやっています。しかし自分が子供だった頃を思い出すと、「校長先生の話は分かりにくくて長くて退屈だ。」と思って聞いていました。当時は先生方も厳しく、しっかりと整列して姿勢よく聞いていないと注意されました。中には緊張して倒れてしまう子どももいたように思います。そんな経験を念頭に置き、話をする時には、「自分が大切だと思って長々と話しても、伝わらない場合もあるのだ。できるだけ子どもが退屈しないように短くしよう。」と意識して話すようにしています。また「この部分を分かってもらいたい。」と思って話しても、そこではなく別の部分に共感したと感想を言われ、気が抜けることもあります。とにかく自分が思う「話の中心」を相手に伝えるということはとても難しいことなのです。でも「朝会の話」は気が楽です。なぜなら私が伝えたい思いをどう受け止めてもらっても、どこに共感してもらってもいいと思って話しているからです。「朝会では校長先生の話聞く時間がある。」と子どもたちに認識してもらっただけでありがたいと思っています。

このところ校長室には子どもたちがノートやタブレットをもってインタビューにきます。

「校長先生の好きな食べ物は何か?」「東中田小学校が出来たころの様子を教えてください。」など、緊張しながらも一生懸命取り組んでいる子どもたちの質問にわくわくしながら答えています。まだひらがなを覚えたての一年生も来ました。ゆっくり短い言葉で答えました。今私の一番うれしい仕事は「子どもたちと出会ったらまずあいさつをして、子どもたちの言葉を受け取ること」です。